MetaMoJi Share for Business 7
バージョン移行ガイド

第 1 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Chromebook、Android、Google、Google Drive、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apache、OpenOffice、Apache OpenOffice は Apache Software Foundation の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2025 年 9 月 2 日 ©2025 株式会社 MetaMoJi

目次

1. 概要 3

1.1. 新バージョン導入前の確認事項 3

2. 移行をはじめる 4

2.1. システム管理者の作業 4

2.2. ユーザーの作業 5

2.2.1. 旧バージョンからログアウトする 5

2.2.2. 新バージョンをインストールする 5

2.2.3. 新バージョンにログインする 5

2.2.4. 旧バージョンを削除する 6

1. 概要

新バージョンに移行するには、システム管理者がサーバーのバージョンを切り替えたあと、各ユーザーが新バージョンのクライアントアプリケーションを導入する必要があります。

ℹ 新バージョンのクライアントアプリケーションは、旧バージョンとは別のアプリケーションのため、自動でアップデートされません。

1.1. 新バージョン導入前の確認事項

新バージョンを導入する前に、次の点をご確認ください。

！注意！対象OSが変更されました

新バージョンのクライアントアプリケーションの対象OSは以下のとおりです。旧バージョンから変更されているのでご注意ください。

iOS 版	：iOS 17.7 以降
Windows 版	：Windows 11 （23H2）以降 ※長期サービスチャネル(LTSC)の場合は、2024 LTSC 以降
Android 版	：Android 13（API レベル 33）以降

！注意！新バージョンで開いたノートは旧バージョンで開けなくなります

システム管理者によるサーバーバージョンの切り替えが完了すれば、各ユーザーがそれぞれのタイミングで新バージョンのクライアントアプリケーションの利用を開始できます。ただし、新バージョンを導入したユーザーが共有フォルダ内のノートを一度でも開くと、そのノートは旧バージョンでは開けなくなります。また、新バージョンで新規作成したノートも、旧バージョンでは開くことができません。そのため、可能であれば速やかに、全ユーザーが新バージョンへ移行することを推奨します。

！注意！ScanSnap機種の対応

- 旧バージョンで利用していた旧機種（iX500）は新バージョンでは利用できません
- 新機種（iX2500）は、新バージョンでのみ利用できます。
- 上記以外の機種（iX100／iX1300／iX1500／iX600）は新旧両方で利用できます。

---

2. 移行をはじめる

先にシステム管理者がサーバーバージョンを切り替えたあと、各ユーザーが新バージョンのクライアントアプリケーションを導入します。

2.1.　システム管理者の作業

サーバーを新バージョンへ切り替えます。

！注意！ユーザーが利用中でもサーバーバージョンを切り替えることができます

利用中のユーザーがログアウトする必要はありません。

！注意！2つ以上前のバージョン（Ver.5以前）から新バージョンへ切り替える場合

サーバーの切り替えは順番に（途中のバージョンをとばさずに）行ってください。

例）Ver.5からVer.7に移行する場合

サーバーバージョンをVer.5→Ver.6→Ver.7の順に上げます。

ⓘ　クライアントアプリケーションは、途中のバージョンを飛ばして導入できます。

---

1. Web ブラウザで、現在利用している Web 管理ツールにログインします。
2. URL に表示されているサーバー名（「mps101」または「mps102」）を確認します。
   ⓘサーバー名は、「.metamoji.com」より前の部分です。
3. ログアウトせずに Web 管理ツールの画面を閉じます。
4. 操作 2. で確認したサーバー名に応じて、次のいずれかの URL へアクセスします。

   https://**mps101**.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verup9.html

   https://**mps102**.metamoji.com/mmjeditor2/usradm/ja/verup9.html

5. 画面に表示される内容を確認し、チェックボックスをオンにします。
6. ［Ver.7 に移行する］を選択します。
7. 移行を確認するメッセージが表示されるので、[OK]を選択します。

   サーバーでバージョンの切り替え処理が行われます。

2.2.　ユーザーの作業

システム管理者がサーバーバージョンを移行したあとはいつでも、各ユーザーが各自のタイミングでクライアントアプリケーションを新バージョンに更新できます。

2.2.1. 旧バージョンからログアウトする

旧バージョンのクライアントアプリケーションにログインしている場合は、データの同期を行うためにログアウトします。

1. 画面右上の　＞［ログアウト］を選びます。

旧バージョンのクライアントアプリケーションを起動していなかった場合は、起動したときに新バージョンへ移行のメッセージが表示されるので、「移行する」を選択して移行します。

2.2.2. 新バージョンをインストールする

新バージョンのクライアントアプリケーションをインストールします。インストール後は、新バージョンにログインすると、旧バージョンのデータがそのまま利用できます。

1. お使いのデバイスに応じて各ストアへアクセスします（iOS 版：AppStore、Windows 版：Microsoft Store、Android 版：Google Play ストア）。
2. 検索欄で「metamoji」と入力して表示される一覧から「MetaMoJi Share for Business 7」を選んでインストールします。

＜補足＞新バージョンのインストール自体はサーバーバージョンの移行前でも可能です

＜補足＞「Microsoft Store」の利用が企業内で制限されている場合

サイドローディングという方法を使うとストアを介さずに直接インストールできます。詳しくは以下のところをご覧ください。

https://product.metamoji.com/tool/sideload/

2.2.3. 新バージョンにログインする

旧バージョンと同じ法人ID・ユーザーID・パスワードで、新バージョンのクライアントアプリケーションにログインします。ログインや暗証番号の設定が終わると、旧バージョンでアップロードしたデータが、新バージョンで使用できるようになります。

＜補足＞データが正しく移行されなかった場合

旧バージョンで同期が行われていない可能性があります。同期するためには旧バージョンを起動してログアウトします。そのあと改めて新バージョンで同期してデータの移行ができていることをご確認ください。

2.2.4. 旧バージョンを削除する

正しくデータが移行できたことを確認したら、旧バージョンのクライアントアプリケーションを削除します。

ⓘ 削除方法は、お使いのOSで用意されている方法に従ってください。

！注意！旧バージョンを削除する前に、必ず旧バージョンからログアウトしておいてください

旧バージョンを削除すると、MetaMoJiクラウドにアップロードされていないデータは削除されます。確実に同期するために、旧バージョンを削除する前には必ず旧バージョンからログアウトしておいてください。

＜補足＞新バージョンと旧バージョンの併用について

新バージョンを利用開始後も、旧バージョンを削除せずに併用することは可能です。たとえば、旧バージョンを利用している社外ユーザーとの連携に使用できます。
ただし、旧バージョンを利用する場合は以下の制限があります。

- 定期的に新バージョンへの移行を促すメッセージが表示されます。
- 新バージョンで作成または編集したノートは開くことができません。

可能であれば速やかに、全ユーザーが新バージョンへ移行することを推奨します。なお、Web管理ツールの操作ログには、各ユーザーがログインしたクライアントアプリケーションのバージョンが記録されるため、旧バージョンを利用中のユーザーを確認できます。